

方広寺跡発掘調査現地説明会資料

2016年1月23日

公益財団法人 京都市埋蔵文化財研究所

所在地：京都市東山区茶屋町・京都国立博物館敷地内

調査期間：2015年7月13日～2016年2月15日(予定)

調査面積：約600㎡(予定)

調査機関：公益財団法人京都市埋蔵文化財研究所 (http://www.kyoto.-arc.or.jp/)

はじめに

今回の調査は、京都国立博物館本館の改修工事に伴う発掘調査です。調査目的は、安土桃山時代に豊臣秀頼が復興した方広寺大仏殿南回廊と、明治時代の恭明宮を確認するためです。

恭明宮は、明治4年(1871)に建てられた歴代天皇の位牌を祀る施設と明治維新で天皇が東京に向かう際に同行しなかった女官の居住施設を兼ねたものです。明治6年(1873)に廃絶しました。範囲は京都国立博物館の敷地とほぼ同じです。

方広寺関係の遺構

回廊 調査区北部で方広寺大仏殿南回廊の礎石据付穴を東西方向に2列発見しました。柱列20が中央柱列、柱列30が南側柱列にあたります。柱列の梁間は3.6m、桁行は3.7mです。以前の発掘調査から、回廊の形態は複廊ということがわかっています。

溝2 調査区南部で東西方向の溝(幅1.85m・深さ0.7m)を確認しました。溝9から南に5.5mに位置します。以前の調査で、この溝の西延長部を発見しています。大量の瓦が出土しました。

溝3 調査区南端で東西方向の溝(幅0.8m・深さ0.4m)を発見しました。溝の中からは瓦が出土しました。今回の調査で新たに発見しました。

溝9 調査区中央部で、東西方向の溝(幅1.0m・深さ0.4m)を確認しました。柱列30から南に約1.7mに位置します。以前の発掘調査で、この溝の西延長部を発見しています。

恭明宮関係の遺構

溝1 調査区西部で南北方向の溝(幅2.0m・深さ0.6m)を確認しました。以前の発掘調査で、この溝の北延長部を発見しています。また本館内中庭での発掘調査では、溝1から東側約30mの位置で南北方向の石組溝(幅0.85m・深さ0.5m)・築地痕跡・内溝を発見しています。出土した土器から明治時代の溝とわかります。

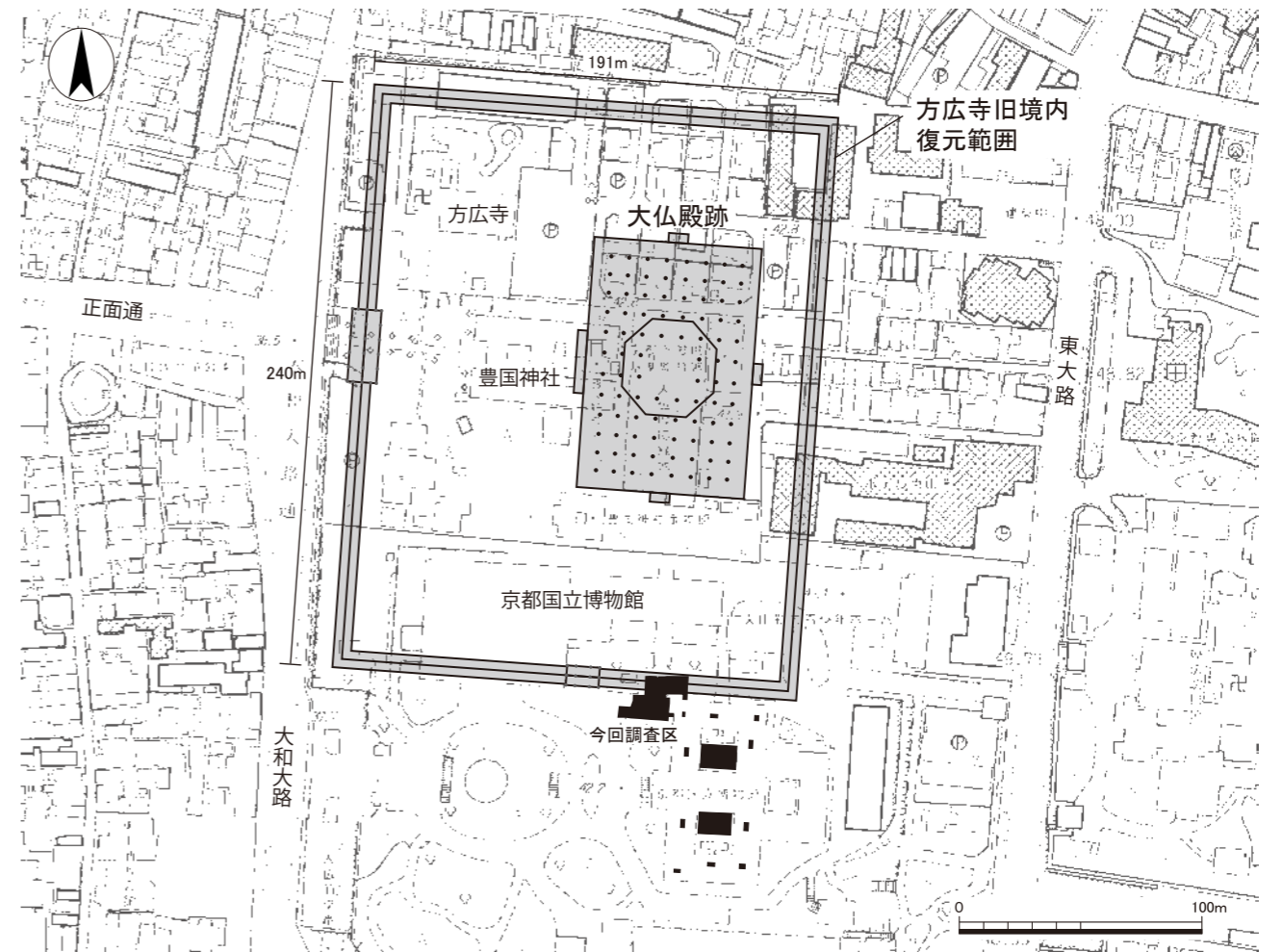
まとめ

今回の発掘調査では、方広寺大仏殿南回廊の東延長部を発見し、回廊の状況が明らかになりました。また回廊に伴う雨落溝(溝9)や、溝2、溝3も東に延長することが明らかになりました。

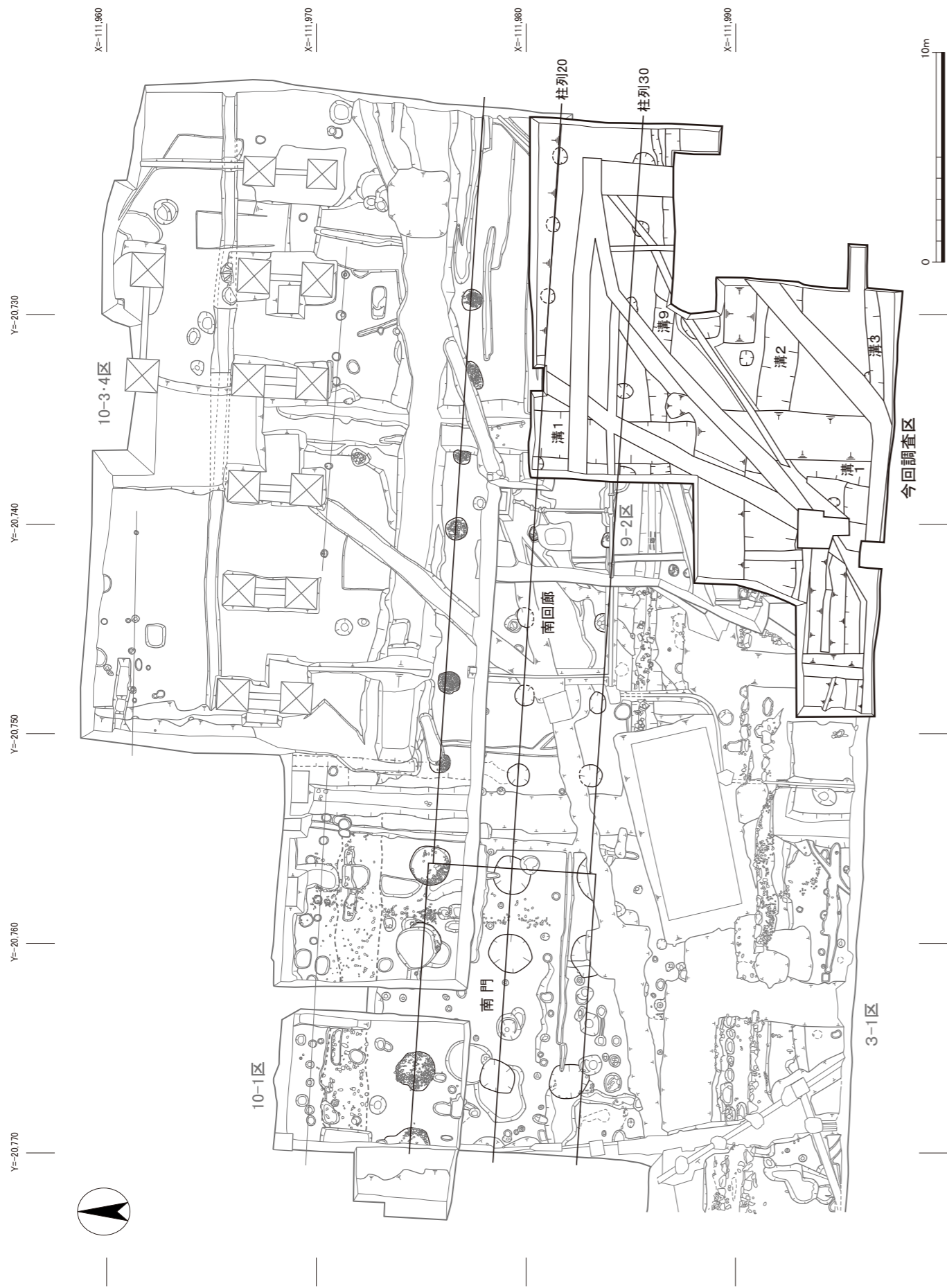
溝1は恭明宮の絵図などと照らし合わせると、施設内の区画溝の可能性が高いことが明らかになりました。これまで絵図や文献でのみ、構造や様子をうかがうことが可能でしたが、今回の発掘調査で、恭明宮の一端が明らかになりました。

関連年表

時代	年代	この地域の出来事	社会情勢
平安	応保元年(1161)	後白河法皇、法住寺殿を建設。	
	寿永2年(1183)	木曾義仲により法住寺殿、焼亡。	1183年、平氏が都落ち。
鎌倉	建久2年(1191)	源頼朝、法住寺殿を再建。	1192年、源頼朝、征夷大将軍になる。
	承久3年(1221)	鎌倉幕府、六波羅政庁(六波羅探題)を建設。	1221年、承久の乱が起きる。
	建長元年(1249)	蓮華王院三十三間堂焼亡、2年後再建。	
安土桃山	天正14年(1586)	東福寺周辺で大仏殿建設を計画。	1585年、豊臣秀吉、関白になる。
	天正16年(1588)	三十三間堂北側で豊臣秀吉が大仏殿建設開始。	1587年、聚楽第完成。
	文禄4年(1595)	大仏殿ほぼ完成するも、翌年大地震で大仏倒壊。	1598年、秀吉、伏見城にて死去。
	慶長4年(1599)	豊臣秀頼、大仏殿復興を開始。	
	慶長7年(1602)	鑄造中の大仏から出火。大仏殿焼亡。	
江戸	慶長13年(1608)	秀頼、大仏殿再建を開始。	1603年、江戸幕府開幕。
	慶長19年(1614)	大仏殿ほぼ完成するも、「方広寺鐘銘事件」起きる。	1615年、大坂の陣、豊臣家滅亡。
	寛文2年(1662)	地震で大仏破損、鑄潰され銅銭に。	
	寛政10年(1798)	大仏殿落雷のため焼亡。	
明治	明治2年(1869)	恭明宮の建設が計画され、2年後に恭明宮、完成。	1868年、明治維新。1869年、明治天皇、京都から東京へ移る。
	明治6年(1873)	恭明宮、廃止。施設は解体。	
	明治23年(1890)	帝国京都博物館建設地が恭明宮跡地に決定。	
	明治25年(1892)	陳列館(本館)の建設開始。3年後に完成。	
昭和	昭和27年(1952)	「京都国立博物館」と改称。	
	昭和40年(1965)	新館の建設開始。	
平成	平成21年(2009)	平成知新館の建設開始。5年後に開館。	



調査位置図(1:3,000)



遺構平面図 (1 : 250)



恭明宮推定復元図 (1 : 2,500)



本館中庭 溝検出状況全景 (北から)



本館中庭 溝検出状況近景 (北から)